

取扱説明書

ProLite

LCD Monitor

ProLite H2130

ProLite H2010

ProLite H1900



重要

ご使用になる前に必ずこの取扱説明書をお読みになり、正しく安全にお使いください。
お読みになった後は、大切に保管してください。

日本語

警告表示について

本書では、次のような表示をしています。表示の内容をよく理解してから本文をお読みください。

 警告	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して、誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

VCCI（電波障害自主規制）

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。本書に従って正しい取り扱いをしてください。

ただし、下記のことが守られず使用された場合は、保証いたしかねますのでご注意ください。

- モニタの内部およびケーブルの改造はしないこと。
- 電源コードは付属のものを使用すること。

- 本書の内容の一部または全部を無断転載することは固くお断りいたします。
- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。
- 本書に記載した会社名、商品名は、各社の商標または登録商標です。
- 本書は内容について万全を期して作成いたしました。が、万一誤りや記載もれなどお気付きの点がありましたら販売店までご連絡ください。

愛情点検

長年ご使用のモニタの点検を！



ご使用の際
このようなことは
ありませんか

- 電源コードを動かすと、電源がONになったりOFFになったりする。
- キャビネットが異常に熱い。
- 煙が出たり、こげくさい臭いがする。
- 使用中に異常な音や振動などがある。
- その他の異常や故障がある。



ご使用を中止してください

故障や事故防止のため、電源プラグをコンセントからはずし、必ず販売店またはイヤーマサービスセンターにご連絡ください。
点検・修理に要する費用などは販売店またはイヤーマサービスセンターにご相談ください。

もくじ

安全にご使用いただくために	1
ご使用の前に	5
特長	6
標準付属品	7
各部のなまえ ProLite H2130	8
各部のなまえ ProLite H2010/ProLite H1900 ..	9
コンピュータとの接続 ProLite H2130	10
コンピュータとの接続 ProLite H2010/ProLite H1900 ...	11
スピーカーの準備	13
コンピュータの設定	13
パネルの高さ/角度調節	14
パネルの回転方法	15
操作手順	16
調整メニューの内容	17
画面の調整	24
パワーマネジメント機能	26
故障かなと思ったら	27
クリーニング	28
アフターサービス	29
保証書/保証期間について	29
修理サービス	29
オプション部品	29
リサイクル/廃棄について	29
付録A	30
一般仕様 ProLite H2130	30
一般仕様 ProLite H2010	31
一般仕様 ProLite H1900	32
外形寸法図	33
対応信号タイミング	34
信号入力コネクタのピン配列	35
付録B	36

安全にご使用いただくために

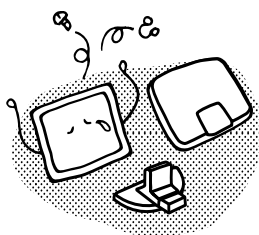
ご使用になる前に、次の注意事項をよくお読みになり必ずお守りください。

警告



万一、異常が発生したら

煙が出る、変な臭いや音ができるなどの異常が発生したときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤーマサービスセンターに修理をご依頼ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



キャビネットは外さない、改造しない

内部には電圧の高い部分があり、キャビネットを外したり改造すると火災や感電の原因となります。内部の点検や修理は販売店またはイヤーマサービスセンターにご依頼ください。

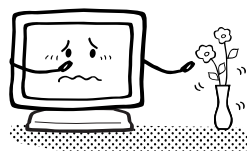


異物を入れない

モニタの通風孔などから内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。火災や感電または故障の原因となります。特にお子様のいるご家庭ではご注意ください。



万一、異物が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤーマサービスセンターにご連絡ください。



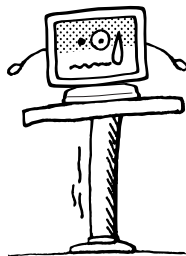
花瓶やコップをモニタの近くに置かない

水やその他の液体、溶剤の入った容器をモニタの近くに置かないでください。こぼれたり、中に入った場合、火災や感電または故障の原因となります。



万一、水などが入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤーマサービスセンターにご連絡ください。

警告



禁止

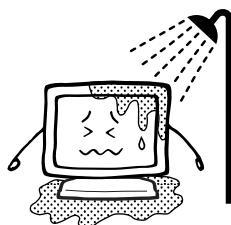
不安定な場所に置かない

ぐらついた台の上や傾いた所など不安定な場所に置かないでください。落ちたり、倒れたりして、けがの原因となります。



プラグを抜く

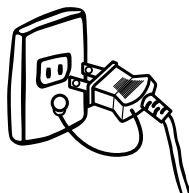
平らで十分に強度がある安定した場所に置いてください。万一、モニタを落としたり、キャビネットを破損した場合は、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電の原因となります。



水場での使用禁止

水のある場所で使わない

風呂場など水が入ったり、ぬれたりする場所で使用しないでください。火災や感電の原因となります。



アースを接地する

電源コードのアースリードを接地する

安全のため、必ずアースリード(黄/黄緑)を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。



禁止

電源コードを傷つけない

電源コードの上に重いものをのせたり、モニタの下敷きにならないようにしてください。また、無理に曲げたり、引っ張ったり、加熱したりしないでください。コードが破損して、火災や感電の原因となります。

コードが傷んだらすぐに販売店またはイヤマサービスセンターに交換をご依頼ください。

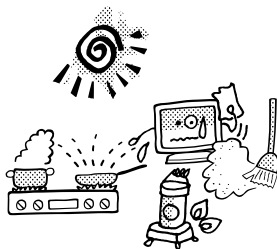


接触禁止

雷が鳴りだしたら、電源プラグに触れない

感電の原因となります。

⚠ 注意

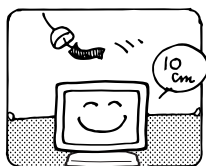


禁止

置き場所を選ぶ

次のような場所に置かないでください。火災や感電または故障の原因となることがあります。

- × 湿気やほこりの多い場所
- × 調理台や加湿器のそばなど油煙や湯気があたる場所
- × 直射日光や照明光が直接画面にあたる場所
- × 熱器具の近く



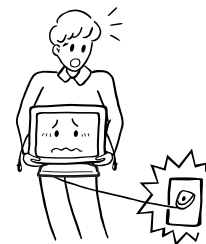
禁止

通風孔をふさがない

次のような使い方はしないでください。

- × チルトスタンドをはずす。
- × あお向けや横倒し、逆さまにする。
- × 押し入れ、本箱など風通しの悪いせまい所に押し込む。
- × じゅうたんや布団の上に置く。
- × テーブルクロスなどをかける。

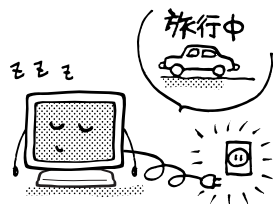
通風孔をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。風通しをよくするために、モニタは周囲から10cm以上離して置いてください。



禁止

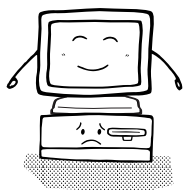
移動させるときは、外部の接続コードをはずす

電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜き、信号ケーブルなどの接続コードをはずしたことを確認の上、移動させてください。火災や感電の原因となることがあります。



旅行などで長期間使わないときは、電源プラグを抜く

安全のため、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。火災の原因となることがあります。



コンピュータの上にモニタを置くとき

必ずコンピュータの取扱説明書などで強度を確認してください。コンピュータが破損する原因となることがあります。

⚠ 注意



プラグを持って抜く

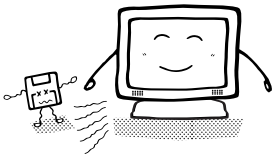
電源コードや信号ケーブルを抜くときは、コードを引っ張らないでください。コードに傷がつき、火災や感電の原因となることがあります。必ずプラグの部分を持って抜いてください。



接触禁止

ぬれた手で電源プラグにさわらないで

ぬれた手で電源プラグを抜き差ししないでください。感電の原因となることがあります。



スピーカーにフロッピーディスクを近づけない (ProLite H2130のみ)

スピーカーは磁気を発生するため、磁気記録のデータが消えてしまうことがあります。

正しくご使用いただくために

目を大切に

画面の位置は、目の高さよりやや低く、目から約40～60cmはなれたくらいが見やすく疲れません。使用する部屋は暗すぎると目が疲れます。適度の明るさの中でご使用ください。また、長時間画面を見続けると目が疲れますので、1時間に10分程度の休息をおすすめします。

故障ではありません

- お使いのコンピュータによっては、画像がずれる場合があります。画面位置を正しく調整してご使用ください。
- ご使用初期において、バックライトの特性上、画面にチラつきが出ることがあります。この場合、電源スイッチをいったん切り、再度スイッチを入れなおしてご確認ください。
- 液晶モニターは、表示する色や明るさにより微小な斑点およびむらが見えることがあります。
- 画面上に常時点灯、または点灯していない画素が数点ある場合があります。これは、液晶パネルの特性によるものです。
- 液晶パネルの特性上長時間同じ画面を表示していると、画面表示を変えたときに前の画面の残像(焼き付きのような症状)が発生する場合があります。この場合、下記のいずれかの方法で徐々に改善されていきますが、改善されないまま前の画像パターンが固定されてしまう可能性もあります。ご使用の際には十分ご注意ください。
 - ・画面の表示パターンを変える。
 - ・数時間電源を切っておく。
- 本製品に使用しているバックライトには寿命があります。画面が暗くなったり、チラついたり、点灯しないときは、販売店またはイヤーマサービスセンターまでお問い合わせください。

ご使用の前に

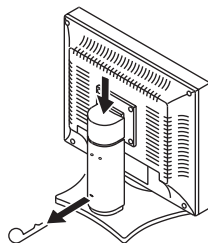
このたびは本製品をお買い上げいただき誠にありがとうございます。

ご使用になる前に本書をよく読んで正しくお使いください。なお、複数機種を併せて記載していますので、仕様が一部異なるところはそれぞれの機種名を明記しています。

また、本書の裏表紙には保証書が記載されていますので、「販売店名・お買い上げ日」等の所定事項の記入および記載内容をご確認の上、大切に保管してください。

本製品は、「USBコネクタ」付きのコンピュータに接続することによりハブとして機能しますが、コンピュータのOSやBIOSの設定状態によっては動作しないことがあります。この場合は、まずコンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカー等にお問い合わせください。

本製品をご使用になる前に、スタンド後部のストッパーピンを外してください。その際、スタンド内部のバネの反動が生じますので、モニタを立ててスタンド上部を下に押しながら、ゆっくりと外してください。



ストッパーピン

特長

- ◆ ProLite H2130 : 54センチ (21.3インチ) TFTカラー液晶モニタ
- ◆ ProLite H2010 : 51センチ (20.1インチ) TFTカラー液晶モニタ
- ◆ ProLite H1900 : 48センチ (19.0インチ) TFTカラー液晶モニタ
- ◆ 最大1600×1200モードをサポート (ProLite H1900はデジタル入力のみサポート)
- ◆ 超広視野角高コントラストパネル採用
- ◆ エコノミーモード搭載
明るさを抑え消費電力を低減できます。
- ◆ 多彩なカラーコントロール機能搭載
国際標準規格sRGBに対応
- ◆ ガンマコントロール機能搭載
動画や自然画を見る際、黒沈みを抑え、メリハリのある画像を表示出来ます。
- ◆ デジタルスモーキング機能搭載
- ◆ 調整の手間を軽減する自動調整機能
- ◆ ステレオスピーカー内蔵 (ProLite H2130のみ)
1.0W+1.0W出力のステレオスピーカー内蔵 (格納可能)。便利なヘッドホン端子も搭載しています。
- ◆ プラグ&プレイ VESA DDC2B対応、
Windows® 95/98/Me/2000/XP対応
- ◆ 国際規格DDC-CIに対応 (INPUT 2コネクタのみ)
付属のDisplay Tune®を使用すると、パソコンから画面調整が自在に出来ます。
- ◆ 低電磁波・省電力設計
TCO '03, MPRⅢ適合, パワーマネージメント 機能搭載
 - ・ ProLite H2130-W
 - ・ ProLite H2010-W
 - ・ ProLite H1900-WTCO '99, MPRⅢ適合, パワーマネージメント 機能搭載
 - ・ ProLite H2130-B
 - ・ ProLite H2010-B
 - ・ ProLite H1900-B
- ◆ 鮮明な画像を実現するデジタル入力(DVI-I)対応
- ◆ デュアルモニタ表示が可能
D-SUB出力を介して、複数台同一画面表示可能。
- ◆ USB2.0 ハイスピードハブ機能搭載
- ◆ 90°回転機構搭載
- ◆ VESAマウント規格(100mm×100mm)対応
- ◆ 盗難防止ロック対応

標準付属品

モニタ本体の他に、下記のもので全て含まれていることをご確認ください。

- 電源コード*1
- DVI-A信号ケーブル DV62*2, DV63*3
- DVI-D信号ケーブル DV67*2, DV68*3
- USBケーブル SU43
- オーディオケーブル AD25*4
- ケーブルカバー
- 取扱説明書（本書）
- 試供品：Pivot® & Liquid Series software (CD)
Pivot®: 画面横縦切替ソフトウェア
Liquid View®: アイコン拡大ソフトウェア
Liquid Surf™: Internet Explorerの表示サポートソフトウェア
CD-ROM内のjapanese.txtを参照してください。
- 試供品：Display Tune® software (CD)
Display Tune®: 画面調整ソフトウェア
CD-ROM内のjapanese.txtを参照してください。

補足 *1 1.次のような場合は、サポート及び保証の対象外となります。

■ 付属以外の電源コードをお使いになる場合

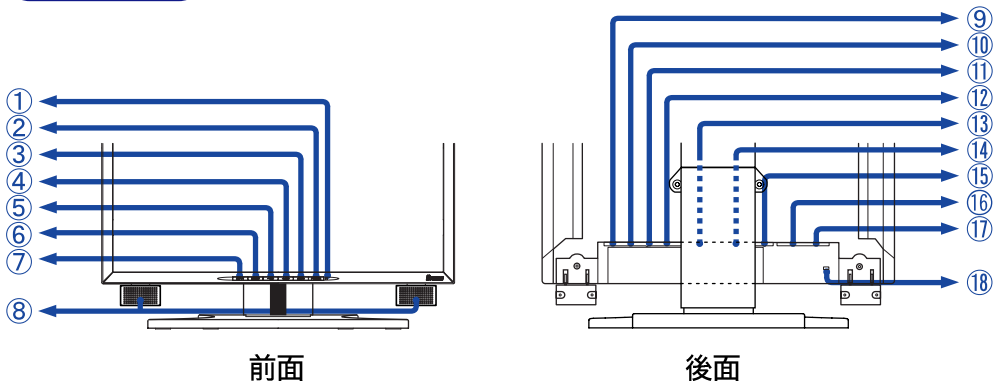
■ 日本以外の国でお使いになる場合サポート及び保証の対象外となることをご承知の上で日本以外でお使いになる場合は、その国の安全規格に合った電源コードをご使用ください。

2. 付属の電源コードは本製品専用です。他の機器には使用しないでください。

*2 ProLite H2130-W, ProLite H2010-W, ProLite H1900-Wの 付属品

*3 ProLite H2130-B, ProLite H2010-B, ProLite H1900-Bの 付属品

*4 ProLite H2130-W/Bの 付属品



前面

後面

① 電源インジケータ

補足

緑色点灯： 通常動作時 (ProLite H2130-W)

青色点灯： 通常動作時 (ProLite H2130-B)

橙色点灯： パワーマネジメント時

水平同期信号、垂直同期信号のどちらか一方、もしくは両方が無くなった場合、パワーマネジメントモードになります。

② 電源スイッチ (POWER)

③ AUTOボタン (AUTO)

④ プラス/ブライツ調整ボタン (+ / ☀)

⑤ マイナス/コントラスト調整ボタン (- / ●)

⑥ MENUボタン (MENU)

⑦ INPUTボタン (INPUT)

⑧ スピーカー

⑨ USB-UP

付属のUSBケーブルでUSB対応コンピュータと接続します。

⑩ USB-DOWN

USB対応のマウスやキーボードなど周辺機器からのケーブルを接続します。

⑪ 音声入力コネクタ (AUDIO IN)

⑫ DVI-I 29ピンコネクタ (INPUT 2)

補足

DDC-CIはINPUT 2のみに対応しています。

⑬ DVI-I 29ピンコネクタ (INPUT 1)

⑭ D-SUBミニ15ピンコネクタ (D-SUB OUT)

INPUT 1にアナログ入力された信号と同じ信号が出力されます。

補足

D-SUBミニ15ピンコネクタの代りにオプションでビデオアダプタ (ビデオ入力) を装着することができます。

⑮ ヘッドフォン端子

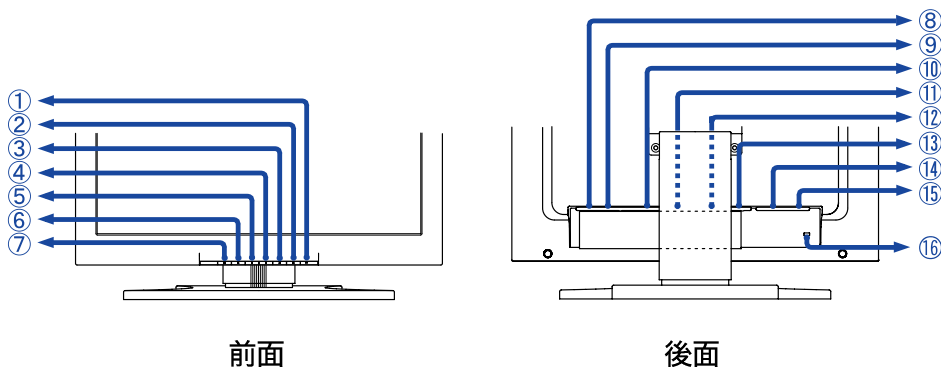
⑯ 電源コード接続コネクタ (AC IN)

⑰ 主電源スイッチ

⑱ 盗難防止ロック用ホール

補足

盗難防止のため、モニタにロックを取り付けることができます。



前面

後面

① 電源インジケータ

補足 緑色点灯： 通常動作時 (ProLite H2010-W, ProLite H1900-W)

青色点灯： 通常動作時 (ProLite H2010-B, ProLite H1900-B)

橙色点灯： パワーマネジメント時

水平同期信号、垂直同期信号のどちらか一方、もしくは両方が無くなった場合、パワーマネジメントモードになります。

② 電源スイッチ (POWER)

③ AUTOボタン (AUTO)

④ プラス/ブライトネス調整ボタン (+ / ☀)

⑤ マイナス/コントラスト調整ボタン (- / ●)

⑥ MENUボタン (MENU)

⑦ INPUTボタン (INPUT)

⑧ USB-UP

付属のUSBケーブルでUSB対応コンピュータと接続します。

⑨ USB-DOWN

USB対応のマウスやキーボードなど周辺機器からのケーブルを接続します。

⑩ DVI-I 29ピンコネクタ (INPUT 2)

補足 DDC-CIはINPUT 2のみに対応しています。

⑪ DVI-I 29ピンコネクタ (INPUT 1)

⑫ D-SUBミニ15ピンコネクタ (D-SUB OUT)

INPUT 1にアナログ入力された信号と同じ信号が出力されます。

補足 D-SUBミニ15ピンコネクタの代りにオプションでビデオアダプタ (ビデオ入力) を装着することができます。

⑬ オプションスピーカー接続コネクタ (DC OUT)

⑭ 電源コード接続コネクタ (AC IN)

⑮ 主電源スイッチ

⑯ 盗難防止ロック用ホール

補足 盗難防止のため、モニタにロックを取り付けることができます。

警告 ■ 安全のため、必ずアースリード（黄／黄緑）を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。

注意 ■ 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニターやコンピュータの故障の原因となることがあります。

■ 周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

補足 ■ 本製品は、「USBコネクタ」付きのコンピュータに接続することによりハブとして機能しますが、コンピュータのOSやBIOSの設定状態によっては動作しないことがあります。この場合は、まずコンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカー等にお問い合わせください。

■ USB2.0が動作する環境がそろっていない場合、USB1.1互換で動作します。

■ パネルを回転させて縦長にすると、ケーブル類が接続しやすくなります。

(P.14「パネルの回転方法」参照)

■ ケーブルは、スタンド後部のカバー内部にまとめることができます。ケーブルの配線方法については次ページを参照してください。

① モニタおよびコンピュータの電源が「OFF」であることを確認します。

② 信号ケーブルをコンピュータに接続します。(P.35「信号入力コネクタのピン配列」参照)

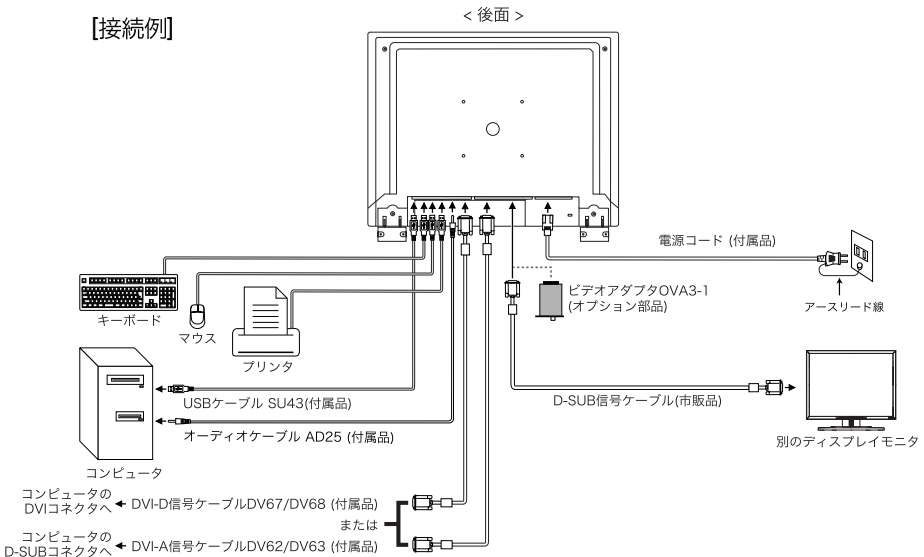
補足 信号ケーブルのコネクタ部付属のネジをしっかりと締めてください。

③ USB機能を使用する場合は、USBケーブルをモニターとUSB対応コンピュータに接続します。

④ オーディオ機能を使用する場合は、オーディオケーブルをモニターとオーディオ機器に接続します。

⑤ 電源コードを電源コード接続コネクタに接続してから、コンセントに接続します。この際、アースの接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。

[接続例]



警告 ■ 安全のため、必ずアースリード（黄／黄緑）を接地してください。アース接続は、電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。また、アースを外す場合は、電源プラグをコンセントから抜いてから行ってください。順番を間違えると、感電の原因となります。

注意 ■ 信号ケーブルはご使用になるコンピュータによって異なります。誤った接続をするとモニターやコンピュータの故障の原因となることがあります。

■ 周辺機器への取り付けや取り外しを行う場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電や故障の原因となることがあります。

補足 ■ 本製品は、「USBコネクタ」付きのコンピュータに接続することによりハブとして機能しますが、コンピュータのOSやBIOSの設定状態によっては動作しないことがあります。この場合は、まずコンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカー等にお問い合わせください。

■ USB2.0が動作する環境がそろっていない場合、USB1.1互換で動作します。

■ パネルを回転させて縦長にすると、ケーブル類が接続しやすくなります。
(P.14 「パネルの回転方法」参照)

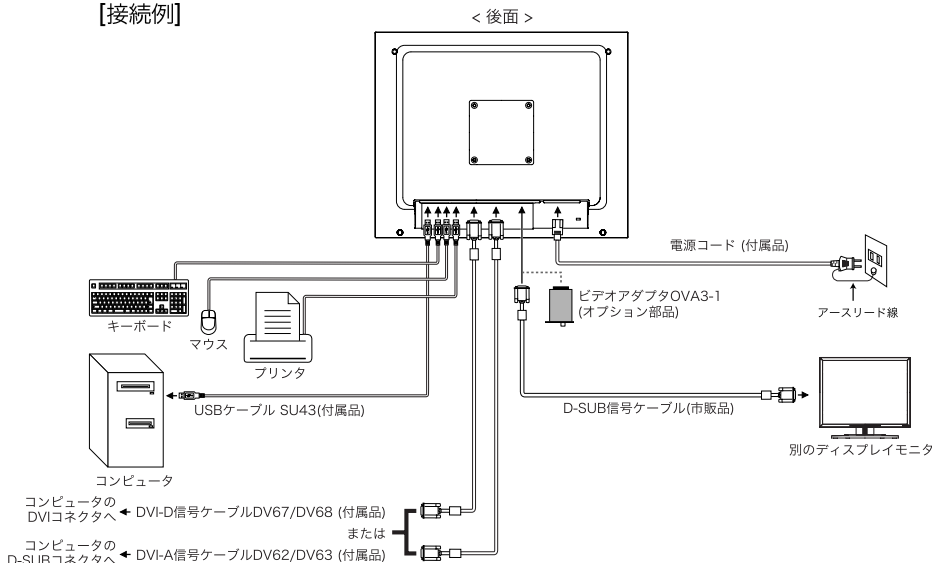
■ ケーブルは、スタンド後部のカバー内部にまとめることができます。ケーブルの配線方法については次ページを参照してください。

- ① モニタおよびコンピュータの電源が「OFF」であることを確認します。
- ② 信号ケーブルをコンピュータに接続します。(P.35 「信号入力コネクタのピン配列」参照)

補足 信号ケーブルのコネクタ部付属のネジをしっかりと締めてください。

- ③ USB機能を使用する場合は、USBケーブルをモニターとUSB対応コンピュータに接続します。
- ④ 電源コードを電源コード接続コネクタに接続してから、コンセントに接続します。この際、アースの接続は必ず電源プラグをコンセントにつなぐ前に行ってください。

【接続例】



接続するコンピュータ	コンピュータ側	接続		モニタ側	
AT互換機 (DOS/V) IBM	D-SUB ミニ15ピン	DVI-A信号ケーブル*3 DV62/DV63 (付属品)		DVI-I 29ピン	
NEC PC98					
NEC PC98	D-SUB 15ピン	変換アダプタPC98 パーツNo.242Z020-01	DVI-A信号ケーブル*3 DV62/DV63 (付属品)		
Macintosh*1	D-SUB 15ピン	変換アダプタMAC パーツNo.T985V003-30	DVI-A信号ケーブル*3 DV62/DV63 (付属品)		
	Apple Display Connector	ADC-DVI変換アダプタ 市販品 推奨品 Dr.Bott VGA Extractor			
AT互換機 (DOS/V) IBM	DVI-D 24ピン または DVI-I 29ピン*2	DVI-D信号ケーブル*4 DV67/DV68 (付属品)			
Macintosh		Apple Display Connector	ADC-DVI変換アダプタ 市販品 推奨品 Dr.Bott DVI Extractor2		DVI-D信号ケーブル*4 DV67/DV68 (付属品)
スピーカー	モニタに取り付けることで、コンピュータやオーディオ機器からの音声を出力します。 ProLite H2010-W/1900-W : OSP1-2 (下付) OSP2-2 (左右付) ProLite H2010-B/1900-B : OSP1-2B (下付) OSP2-2B (左右付)				
ビデオアダプタ	ビデオ入力が可能になります。 OVA3-1				
保護シート	液晶パネルの表面を、汚れや傷から保護します。 ProLite H2130 : パーツNo.832Z001-07 ProLite H2010 : パーツNo.832Z001-05 ProLite H1900 : パーツNo.832Z001-04				
ii-Style カラーキット	色合いをキャリブレーションセンサーによる調整値に設定します。 キットの内容 ・キャリブレーションセンサー ・専用ケーブル ・ソフトウェア(CD)				

補足 *1 Macintoshと接続する場合は専用アダプタあるいはケーブルなどが必要となる場合があります。

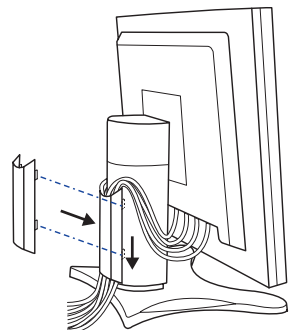
*2 DVI-I 29ピン接続時は、デジタル信号のみの対応となります。

*3 アナログ信号のみ対応可能なケーブルです。

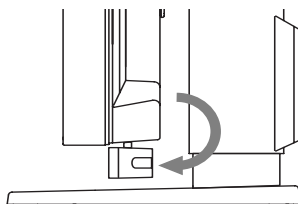
*4 デジタル信号のみ対応可能なケーブルです。

[ケーブルの配線方法]

- ① ケーブルをスタンド後部で束ねます。
- ② 付属のケーブルカバーをスタンド後部の穴に差し込み、下方向にスライドさせて取り付けます。



下図の様にスピーカーを前方へ回転させます。



コンピュータの設定

■ 信号タイミング

本製品がサポートしているお好みの解像度 (P.34 「対応信号タイミング」 参照) に設定してください。

■ Windows 95/98/Me/2000/XP プラグ&プレイ対応

本製品はVESA規格のDDC2Bに対応しています。DDC2B対応のコンピュータと本製品付属の信号ケーブルで接続することにより、Windows 95/98/Me/2000/XP上でプラグ&プレイ機能が動作します。この際、Windows 95/98/Me/2000/XP モニタインフォメーションファイルのインストールが必要になる場合がありますので、弊社ホームページのダウンロードサービスをご利用ください。

ホームページアドレス <http://www.iiyama.co.jp>

補足

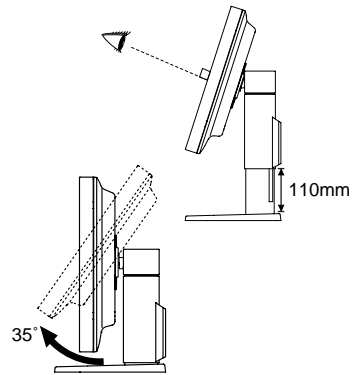
- ダウンロード方法および操作方法についても、弊社ホームページに説明がありますのでご覧ください。
- MacintoshまたはUnixについては、ほとんどの場合モニタドライバは必要ありません。詳しくは、コンピュータの取扱説明書を確認したり、コンピュータメーカー等にお問い合わせください。

パネルの高さ/角度調節

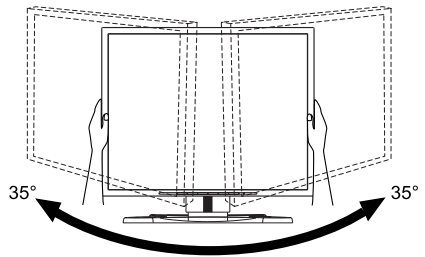


注意

- 調節の際、液晶パネル面を押さないでください。液晶パネルを破損し、最悪の場合、液晶パネルが割れるおそれがあります。
- 調節の際、スタンド可動部のスキ間に指を入れないでください。ケガの原因となることがあります。
- 高さ調節を最小にし、角度調節を下方向で使用する場合は、スピーカーを格納してご使用ください。スピーカーを格納しないで使用すると、スピーカーがスタンドに接触して破損の原因となることがあります。(ProLite H2130のみ)



- 液晶モニタは、正面から見る画面が一番きれいに見えます。高さや傾きを調節して、見やすい位置でご使用ください。
- 高さ調節や角度調節の際は、パネルの左右を持って行ってください。
- 高さ調節範囲は110mm、角度調節範囲は左右各35°、上方向35°です。



パネルの回転方法

① パネルの高さを最大にしてください。

② パネルを90°回転させます。

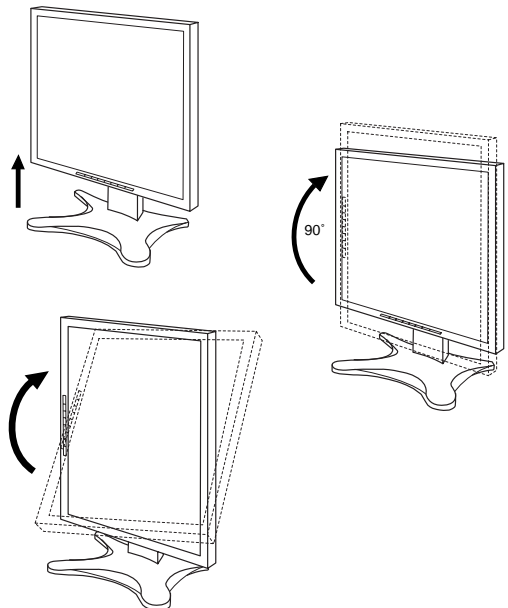
横長→縦長：時計回り

縦長→横長：反時計回り

補足

- 無理に回転させようとすると、回転機構を破損する原因になります。
- パネルを縦長で使用するときは付属のPivot® softwareをご使用ください。

③ お好みの角度に調節してください。

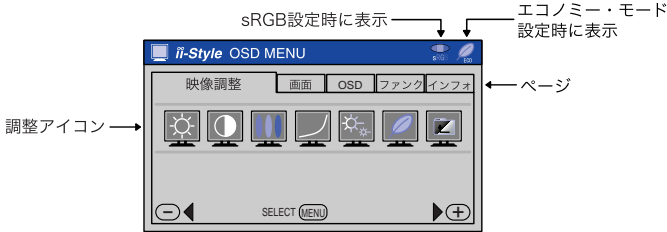


操作手順

P.34の「対応信号タイミング」にて、最良の状態になるようにあらかじめ調整してありますが、接続するコンピュータの種類により調整が必要になる場合があります。そのようなときは次の手順に従ってボタン操作を行ってください。

オンスクリーン表示の工場出荷設定言語は英語表示になっています。お好みにより言語を選択してください。なお、ここでは日本語表示で説明しています。

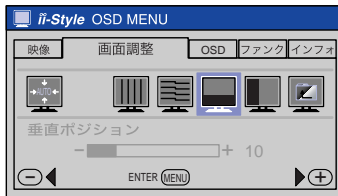
- ① MENUボタンを押すと、画面にメニューが表示されます。+ / -ボタンでページを送ります。



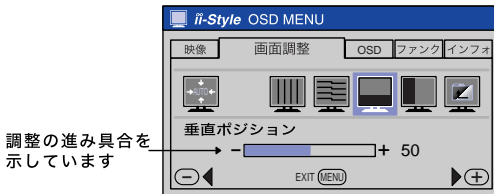
- ② 調整したいアイコンがあるメニュー画面（ページ）を表示し、MENUボタンを押します。カーソルがアイコンの列に移動するので、+ / -ボタンで調整するアイコンを選択します。

- ③ 再びMENUボタンを押し、+ / -ボタンを使って調整や設定を行っていきます。

例えば垂直ポジションを調整したいときは、まずメニュー：画面調整のページを表示させ、MENUボタンを押します。次に+ / -ボタンで （垂直ポジション）を選択し、MENUボタンを押します。



調整画面が表示されますので、+ / -ボタンでお好みの画面に調整します。



- 補足**
- 調整中にボタン操作を中止すると、数秒後にオンスクリーン表示が消えます。
 - AUTOボタンを押すと、即座にオンスクリーン表示を消すことができます。
 - オンスクリーン表示が消えると同時に調整内容が記憶されます。この間に電源を「OFF」しないでください。
 - ブライツネス、コントラスト、クロック、フェーズ、ポジションの調整内容は、信号タイミング別に記憶されます。これ以外の調整項目については、全ての信号タイミングに対して共通の内容が記憶されます。

調整メニューの内容

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

- ブライツネス：メニュー画面を表示していない時に、ブライツネス調整ボタンを押します。
- コントラスト：メニュー画面を表示していない時に、コントラスト調整ボタンを押します。
- 入力信号切り替え：メニュー画面を表示していない時に、INPUTボタンを押します。
- 自動調整：メニュー画面を表示していない時に、AUTOボタンを押します。
- 音量調整：ブライツネス調整ボタンまたはコントラスト調整ボタンを押してから約5秒以内にMENUボタンを押します。（ProLite H2130のみ）

補足 ■ ブライツネス/コントラスト/音量調整の切り替え（音量調整はProLite H2130のみ）

ダイレクト調整中、ブライツネス調整ボタンまたはコントラスト調整ボタンを押してから約5秒以内にMENUボタンを押すと、調整画面を切り替えることができます。

⇨ ブライツネス → コントラスト → 音量調整 ⇩

■ 入力信号切り替え（INPUT1 / INPUT2）

INPUT1とINPUT2の信号が同時に入力されている時、信号入力コネクタの選択を行います。

メニュー：ファンクションの「自動検出」を「自動」にしている場合

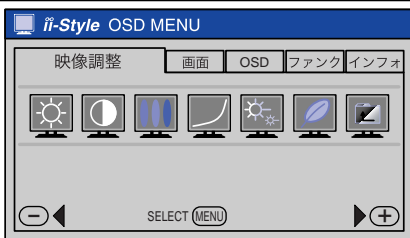
INPUTボタンを押すと、信号入力コネクタ(INPUT1 / INPUT2)を自動選択します。

メニュー：ファンクションの「自動検出」を「手動」にしている場合

INPUTボタンを押してからMENUボタンを押し、+ / - ボタンを使って入力信号(INPUT1アナログ / INPUT1デジタル / INPUT2アナログ / INPUT2デジタル)を選択します。

アナログ/デジタル入力時

メニュー：映像調整
(アナログ/デジタル入力)

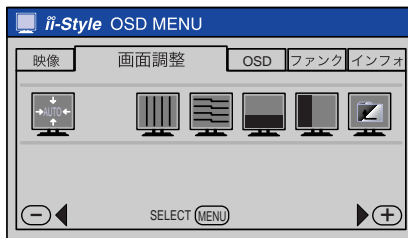


























調整項目	画面の状態/調整ボタン	
ブライトネス* Brightness ダイレクト調整	暗すぎる	← +
	明るすぎる	← -
コントラスト Contrast ダイレクト調整	弱すぎる	← +
	強すぎる	← -
カラー調整 Color Temp. / Matrix 補足 ■ sRGBとは、機器間の色再現(色彩、彩度等)の違いを規定・統一した国際規格です。 ■ sRGBを設定している時は、ブライトネス、コントラスト、ガンマ補正が固定値となり調整できません。	9300K	やや青みがかかったホワイト (9300K)
	6500K	やや赤みがかかったホワイト (6500K)
	ユーザー	R(赤) 弱すぎる ← + G(緑) 強すぎる ← - B(青)
	マトリクス	Y(イエロー) 薄すぎる ← + M(マゼンタ) 濃すぎる ← - C(シアン)
	sRGB	sRGBモードになります
CAL	キャリブレーションモード：色合いをキャリブレーションセンサー(オプション)による調整値に設定します	
ガンマ補正 Gamma	ノーマル	ノーマル
	ハイコント	ハイコントラスト
	ダーク	ダーク
	ユーザー	ガンマ値：約1.8, 2.0, 2.2, 2.4のいずれかに設定します
シャープネス Sharpness	1 2 3 4 5	← + ← -
	1~5 (ソフト→シャープ) まで設定されています。プラスボタンを押すと昇順に移動し、マイナスボタンを押すと降順に移動します。	
エコノミー・モード Economy Mode	ユーザー	バックライトが暗すぎる ← + バックライトが明るすぎる ← -
	モード1	バックライトの明るさ約10%ダウン
	モード2	バックライトの明るさ約50%ダウン
メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：映像調整に戻ります	

* 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、エコノミー・モードのユーザーを調整してください。

ダイレクト調整 ダイレクト調整については、P.16「ダイレクト調整」を参照してください。

メニュー：画面調整
(アナログ入力)



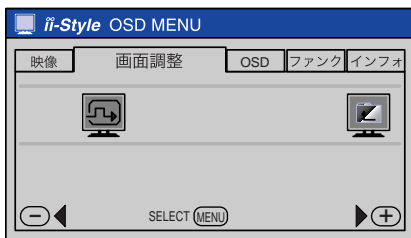
調整項目		画面の状態／調整ボタン	
 自動調整*1 Auto Set-up ダイレクト調整	NO	メニュー画面に戻ります	
	YES	クロック, フェーズ, 垂直ポジション, 水平ポジションの4項目を自動で調整します	
補足 調整中は画面が一瞬暗くなり、多少時間がかかります。(約5秒)			
 クロック*2 Clock	模様や文字が にじんたり、ちらついている		  
 フェーズ*2 Phase	模様や文字が にじんたり、ちらついている		  
 垂直ポジション V-Position	 下によっている  上によっている	   	
 水平ポジション H-Position	 左によっている  右によっている	   	
 メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：画面調整に戻ります		




*1 この機能を正常に動作させるには、画面調整パターンを表示させる必要があります。調整方法および手順については、P.24「画面の調整」を参照してください。

*2 調整方法および手順については、P.24「画面の調整」を参照してください。

ダイレクト調整 ダイレクト調整については、P.16「ダイレクト調整」を参照してください。

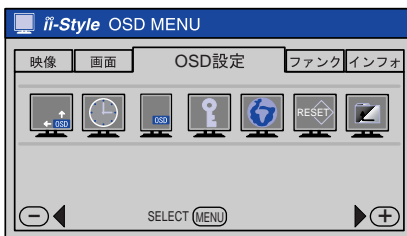
メニュー：画面調整
(デジタル入力)



調整項目	画面の状態／調整ボタン
 <p>DVIフィルター* DVI Filter</p>	<p>画面ノイズが出ている</p> <div style="text-align: right;">  <input data-bbox="967 363 1020 389" type="button" value="+"/> <input data-bbox="967 389 1020 414" type="button" value="-"/> </div>
<p>補足 付属品のケーブルより長いケーブルを使用した時に発生する画面ノイズを軽減させたい場合にご使用ください。</p>	
 <p>メニューに戻る Return to Menu</p>	<p>カーソルがメニュー：画面調整に戻ります</p>

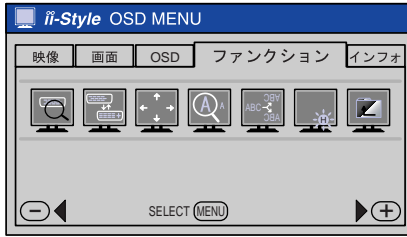
* INPUT 1のみに対応しています。


メニュー：OSD設定
(アナログ/デジタル入力)



調整項目	画面の状態/調整ボタン			
 OSD位置調整 OSD Position	1 2 3 4 5	   		
 OSDオフタイマー OSD Off Timer	3~60秒	  		
 OSD回転 OSD Rotation	オフ	ノーマル画面に戻ります		
	オン	メニュー画面を左に90°回転します		
補足	パネルを縦長(90°回転)で使用する時に、ご使用ください。			
 キーロックモード Key Lock Mode	オフ	メニュー画面に戻ります		
	オン	すべての調整をロックします		
補足	ロックを解除する場合は、メニュー、プラス、マイナスボタンを同時に8秒以上押し続けてください。			
 言語選択 Language	English	英語表示	Svenska	スウェーデン語表示
	Deutsch	ドイツ語表示	Русский	ロシア語表示
	Nederlands	オランダ語表示	中文	中文表示
	Francais	フランス語表示	日本語	日本語表示
	Italiano	イタリア語表示	Polски	ポーランド語表示
	Espanol	スペイン語表示		
 リセット Reset	NO	メニュー画面に戻ります		
	YES	工場出荷設定に戻します		
 メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：OSD設定に戻ります			

メニュー：ファンクション
(アナログ/デジタル入力)



調整項目	画面の状態/調整ボタン						
 自動検出 Auto Search	自動	下記順番で、入力信号の自動選択を行います → INPUT1アナログ→ INPUT1デジタル→ INPUT2アナログ ← VIDEO*1<S VIDEO*1< INPUT2デジタル←					
	手動	「入力信号切り替え」で入力信号を選択します					
 入力信号切り替え Signal Select ダイレクト調整	Input1	映像をアナログ入力に切り替えます 映像をデジタル入力に切り替えます					
	Input2	映像をアナログ入力に切り替えます 映像をデジタル入力に切り替えます					
		映像をアナログ入力に切り替えます 映像をデジタル入力に切り替えます					
	S Video*1	映像をS ビデオ入力に切り替えます					
	Video*1	映像をビデオ入力に切り替えます					
 フルスクリーン*2 Full Screen	1 to 1	等倍表示					
	アスペクト	アスペクト比に拡大表示					
	フル	拡大表示					
 ズーム Zoom 補足 ユーザー設定を取り消す場合は、設定画面を表示している時にAUTOボタンを押してください。	ユーザー	Zoom In Zoom Out ← MENU	画面を拡大します 戻します	← + ← -			
		水平ポジション ← MENU	ズームポイント右側へ移動 ズームポイント左側へ移動	← + ← -			
	4 Multi.	垂直ポジション	ズームポイント下側へ移動 ズームポイント上側へ移動	← + ← -			
		<table border="1" style="display: inline-table; vertical-align: middle;"> <tr><td>1</td><td>2</td></tr> <tr><td>3</td><td>4</td></tr> </table> 4台のモニタを使った4分割画面設定時に選択してください	1	2	3	4	
	1	2					
3	4						
 フリッピング Flipping	オフ	ノーマル画面に戻ります					
	Mirror	左右を反転した画面を表示します					
	180°	180°回転した画面を表示します					
 LED ON/OFF*3 LED ON/OFF	オフ	LEDを消灯します					
	オン	LEDを点灯します					
 メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：ファンクションに戻ります						

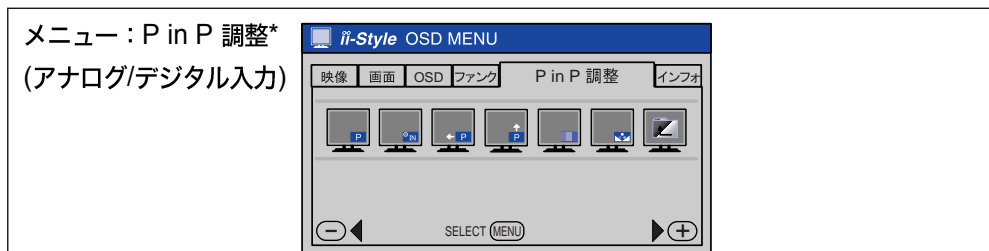
*1 オプションビデオ入力時のみ対応します。「付録B」を参照してください。
















*2 UXGA 1600×1200入力時は、「アスペクト」の選択ができません。

*3 マルチモニタ環境時、LEDの光が気になる場合にご使用ください。

ダイレクト調整 ダイレクト調整については、P.16「ダイレクト調整」を参照してください。

メニュー: P in P Controlは、オプションビデオアダプタ(OVA3-1)が取り付けられたときのみ、アナログ入力、デジタル入力で使用できます。



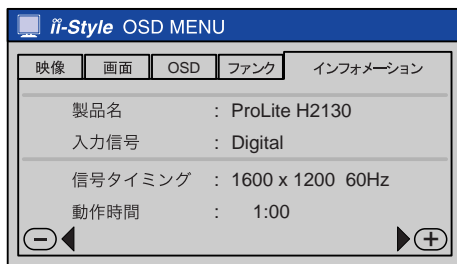
調整項目	画面の状態／調整ボタン	
 P in P ON P in P On	オフ	P in P機能をオフにします
	小	サブ画面のサイズを最小にします
	中	サブ画面のサイズを標準にします
	大	サブ画面のサイズを最大にします
 P in P 入力切替 P in P Input	S Video	Sビデオの映像をサブ画面に映します
	Video	ビデオの映像をサブ画面に映します
 P in P 水平ポジション P in P H-Position	サブ画面が左によっている	 <input type="button" value="+"/>
	サブ画面が右によっている	 <input type="button" value="-"/>
 P in P 垂直ポジション P in P V-Position	サブ画面が下によっている	 <input type="button" value="+"/>
	サブ画面が上によっている	 <input type="button" value="-"/>
 P in P カラー P in P Color	サブ画面の色が薄い	 <input type="button" value="+"/>
	サブ画面の色が濃い	 <input type="button" value="-"/>
 P in P 色あい P in P Hue	サブ画面の色が紫がかった	 <input type="button" value="+"/>
	サブ画面の色が緑がかった	 <input type="button" value="-"/>
 メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：P in P 調整に戻ります	

* コンピュータとオーディオ機器をモニタに接続している時に使用できます。

P in P=ピクチャー・イン・ピクチャー：

コンピュータ画像を大画面で映しながら、DVD/ビデオなどの映像をサブ画面（小画面）に映すことができます。

メニュー：インフォメーション (アナログ/デジタル入力)



製品名/入力信号/信号タイミング/動作時間が表示されます。

- 本製品での画面調整とは、お使いのコンピュータシステムに合わせ画面の位置を調整したり、表示される模様や文字のにじみ、ちらつきを最小限に調整することをいいます。
- ProLite H2130 / ProLite H2010に搭載されている液晶パネルは、1600×1200の解像度の時に最高の性能が発揮できるよう設計されています。1600×1200未満の解像度では、自動的に拡大表示モードとなり、液晶パネル本来の性能は発揮できませんので、通常は1600×1200の解像度で使用することをおすすめします。
- ProLite H1900に搭載されている液晶パネルは、1280×1024の解像度の時に最高の性能が発揮できるよう設計されています。1280×1024未満の解像度では、自動的に拡大表示モードとなり、液晶パネル本来の性能は発揮できませんので、通常は1280×1024の解像度で使用することをおすすめします。
- 拡大表示モードでは画面拡大処理の関係上、表示される文字がぼやけたり、線が部分的に太くなります。
- コンピュータのディスプレイドライバによっては、画面の位置、周波数の微調整ができるものがありますが、正常に表示できなくなる可能性がありますので、微調整は本製品側の調整機能を使用してください。
- 調整は、電源を「ON」にして30分以上経ってから行ってください。
- 自動調整は解像度や画像のタイミングにより、微調整が必要な場合があります。
- 画面調整パターン以外では、自動調整が正常に機能しない場合があります。そのようなときは手動で調整を行ってください。

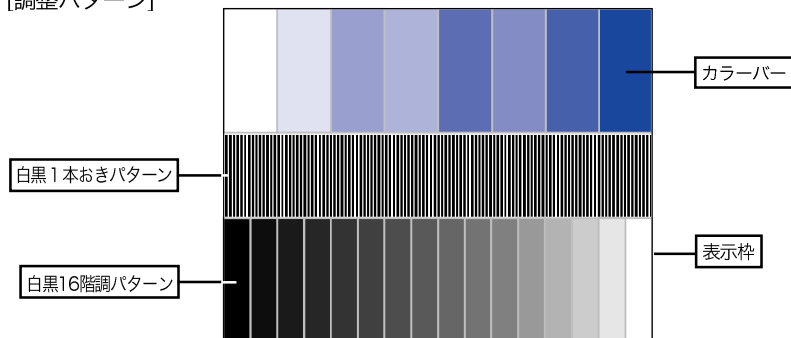
本製品には、画面の調整方法として位置、クロック、フェーズを自動で行う方法と、個々の調整を手動で行う方法があります。新しくコンピュータを接続したときや解像度を変更した場合は、まず自動調整を行います。それでも文字のにじみやちらつき、ポジションずれがある場合は手動で微調整を行います。

いずれも、弊社ホームページ(<http://www.iiyama.co.jp>)からサポートページへアクセスし、「画面調整プログラム」を起動して調整を行います。

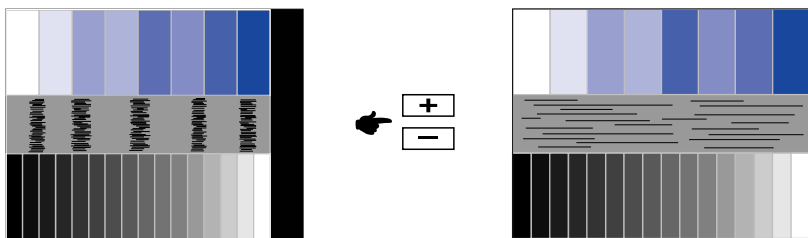
次の手順に従い調整を行ってください。本書では、Windows 95/98/Me/2000/XPを基準に説明しています。

- ① 「画面調整プログラム」を起動します。
- ② お使いのモニタの解像度を選択すると、調整パターンが表示されます。

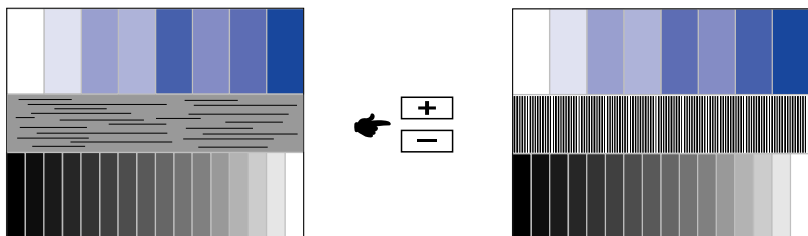
[調整パターン]



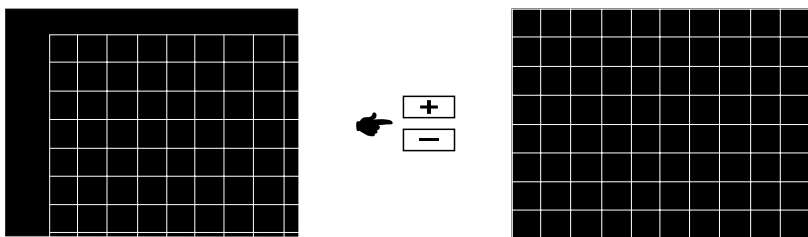
- ③ 自動調整ボタンを押します。
- ④ 自動調整を行っても画面のちらつきやにじみ、ポジションずれがある場合は、以下の手順で手動調整を行います。
- ⑤ 調整メニューのクロックにて調整パターンの右枠が表示領域の右端にくるよう調整します。



- ⑥ 白黒一本おきパターンに注目し、横縞状のノイズ、にじみ、ちらつきが最小限になるよう、調整メニューのフェーズにて調整します。



- ⑦ 画面調整プログラムの「位置」を選択し、調整メニューの水平ポジション、垂直ポジションにてクロスハッチパターンの上下左右枠が表示領域に入るよう調整します。



- 補足**
- クロックを調整中、調整パターンの左枠が表示領域の左端からずれてしまう場合は、クロックと水平ポジションを交互に調整してください。
 - クロック調整は白黒一本おきパターンに注目し、縦縞状のノイズが無くなるよう調整するのも一つの方法です。
 - クロック、水平ポジション、垂直ポジションを調整中、画面が一瞬乱れることがありますが、故障ではありません。
 - クロックを調整しても表示領域に収まらない場合は、③からもう一度調整を行ってください。
 - フェーズを調整しても画面の一部分にひどくにじみやちらつきが残る場合、クロックが正確に調整されていない可能性があります。⑤からもう一度調整を行ってください。それでもにじみやちらつきが残る場合、コンピュータのリフレッシュレートを低く（60Hz）設定し、③から調整を行ってください。
 - フェーズを調整中、水平ポジションがずれてしまう場合は、フェーズ調整を終えてから水平ポジションにて調整してください。

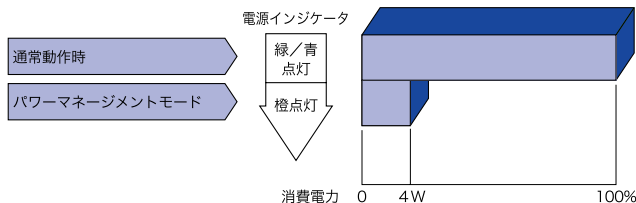
- ⑧ 最後に、画面調整プログラムの「明るさ」を選択し、調整メニューのブライトネス、コントラストにて、調整パターン下部の白黒16階調が見えるよう、目が疲れない程度の明るさ、色合いに調節します。
「終了」をクリックしてプログラムを終了させてください。

パワーマネジメント機能

本製品のパワーマネジメント機能は、VESA DPMSの省電力に関する規格に対応しており、一定時間コンピュータを使用しないときにモニタの消費電力を自動的に抑えることができます。この機能はVESA DPMSに対応したコンピュータと接続して使用される場合のみ機能し、次のモードを備えています。モードの時間設定等はコンピュータ側で行います。

パワーマネジメントモード

コンピュータからの水平同期信号/垂直同期信号のどちらか一方、または水平および垂直同期信号がOFF状態になるとパワーマネジメントモード（消費電力4W以下）となり、画面が暗くなるとともに電源インジケータが橙色に点灯します。この状態でマウスまたはキーボードを操作すると、画面は数秒後に表示され通常動作状態に戻ります。



補足

- パワーマネジメントモードでも電力を消費しています。夜間や週末などモニタを使用しないときは必ず電源スイッチを切り、不要な電力消費を避けてください。
- 水平または垂直同期信号がOFFになっているにも関わらずビデオ信号が出力されているコンピュータについては、パワーマネジメント機能が正常に動作しない場合があります。

故障かなと思ったら

「故障かな？」と思ったら次の順番で調べてみてください。

1. 「操作手順」に従い症状に合わせて調整してみてください。なお、映像が出ない場合は2へ進んでください。
2. 調整項目にない、または調整しても症状が解消されない場合は次のチェックをしてみてください。
3. もしここに記載されていないような症状が起こったり、記述通りのチェックをしても症状が消えなかったときは、モニタの使用を中止し電源プラグをコンセントから抜いて、お買い上げになった販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。

症状

チェックポイント

- ① 映像が出ない
(インジケータ点灯せず)
- 電源コードが確実に接続されていますか？
 - 電源スイッチが「ON」されていますか？
 - 電源コンセントに電気がきていますか？ 別の機器で確認してください。
- (インジケータ緑色/青色)
- ブランクスクリーンセーバーが作動中ではありませんか？ マウスやキーボードを触ってみてください。
 - ブライトネスおよびコントラストが最小になっていませんか？
 - コンピュータの電源は入っていますか？
 - 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
 - コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
- (インジケータ橙色)
- パワーマネージメント状態ではありませんか？ マウスやキーボードを触ってみてください。



- 入力信号の選択は合っていますか？ 入力信号切り換えを行ってください。
- コンピュータの電源は入っていますか？
- 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
- コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

- ② 画面が乱れている



- 信号ケーブルが確実に接続されていますか？
- コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？
- コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

- ③ 画面の位置が片寄っている



- コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

- ④ 画面が明るすぎる / 暗すぎる

- コンピュータの映像出力レベルがモニタの仕様に合っていますか？

- ⑤ 画面が揺れる



- 電源電圧は正常ですか？ タコ足配線はやめてください。
- コンピュータの信号タイミングがモニタの仕様に合っていますか？

クリーニング

警告 ■ 万一、モニタ内部に異物または水などの液体が入ったときは、すぐに電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて販売店またはイヤマサービスセンターにご連絡ください。そのまま使用すると火災や感電または故障の原因となります。

注意 ■ 安全のため、必ず電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いて行ってください。感電の原因となることがあります。

補足

■ 液晶パネル表面は傷つきやすいので、硬い物でこすったり、ひっかいたりしないでください。

■ キャビネットや液晶パネルを痛めないために、次の溶剤は使用しないでください。



- ・シンナー
- ・ベンジン
- ・研磨剤
- ・スプレークリーナー
- ・ワックス
- ・酸性、アルカリ性の溶剤

■ キャビネットにゴムやビニール製品などを長時間接触させたままにしないでください。変質したり、塗料がはげるなどの原因となります。

キャビネット 柔らかい布を薄い中性洗剤でわずかに湿らせて汚れを落としてください。その後乾いた柔らかい布で拭いてください。

液晶パネル 定期的に柔らかい布でやさしく拭いてください。ティッシュペーパー等で拭くと傷が入る恐れがありますので、使用しないでください。

アフターサービス

保証書／保証期間について

- 本製品の保証書は、本書裏表紙に記載されています。
- 保証書の「販売店名・お買い上げ日」などの所定事項の記入および記載内容をご確認いただき、大切に保管してください。
- 保証期間は本体お買い上げ日より3年間です。ただし、中古販売の製品については3年間の保証は適用されません。
また、液晶パネルおよび光源のバックライトの保証期間は1年間です。ただし、1年の保証期間内であっても輝度の低下や焼き付き等による経年劣化の場合は、保証の対象になりません。

修理サービス

- 「故障かなと思ったら」でチェックしても症状が解消されない場合は、お買い上げの販売店またはイヤマサービスセンターへご連絡ください。
- 修理や点検のためモニタを輸送される時は、専用の梱包箱、クッションをご使用ください。他の梱包材料を使って輸送した場合、モニタが破損したり、故障の原因となることがあります。なおこの事由による修理は保証期間内であっても有料となります。
お手元に専用の梱包材料がない場合は、送付前に必ずイヤマサービスセンターまでご連絡ください。
- 本製品の補修用性能部品（製品の機能を維持するために必要な部品）は、製造終了後5年間保有されています。補修用性能部品の最低保有期間が経過した後でも、故障箇所によっては修理可能な場合がありますので、お買い上げの販売店またはイヤマサービスセンターにご相談ください。

オプション部品

- オプション部品をご注文の際にはP. 12の表に記載されている品名とパーツNo.で、販売店にご注文ください。

リサイクル／廃棄について

- 本製品を、ごみ廃棄場で処分される一般のごみといっしょに捨てないでください。本製品に使用している蛍光管には水銀が含まれていますので、本製品を廃棄する際は、地方自治体の条例または規則に従ってください。
- リサイクル／廃棄については、イヤマサポートセンターへお問い合わせください。

付録 A

仕様および外観は改良のため、予告なく変更することがあります。

一般仕様

モデル名		ProLite H2130
液晶 パネル	駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリックス
	サイズ	対角：54cm/21.3"
	画素ピッチ	水平 0.27mm×垂直 0.27mm
	輝度	280cd/m ² (標準)
	コントラスト比	500：1 (標準)
	視野角	上下左右各85° (標準)
	応答速度	20ms (黒→白→黒), 20ms (グレー↔グレー)
最大表示色	約1677万色	
走査周波数	アナログ：水平：24.0～82.0kHz 垂直：56.0～85.0Hz デジタル：水平：31.0～82.0kHz 垂直：50.0～85.0Hz	
ドットクロック	162MHz (最大)	
解像度	1600×1200 (最大), 2MegaPixels	
信号入力コネクタ	デュアルDVI-I29ピンコネクタ	
信号出力コネクタ	D-SUBミニ15ピンコネクタ	
プラグ&プレイ機能	VESA DDC2B™, DDC-CI	
入力同期信号	セパレート同期： TTL, 正極性/負極性 コンポジット同期：TTL, 正極性/負極性 シンク・オン・グリーン：0.3Vp-p, 負極性	
入力映像信号	アナログ：0.7Vp-p (標準), 75Ω, 正極性 デジタル：DVI(デジタルビジュアルインターフェイス規格Rev.1.0)準拠	
出力映像信号	アナログ：0.7Vp-p (標準), 75Ω, 正極性	
最大表示範囲	水平：432mm 垂直：324mm	
USB規格 コネクタ形状	Rev. 2.0/1.1適合 セルフパワーハイスピードハブ Upstream：シリーズB, Downstream(周辺機器側)：シリーズA	
USB内蔵ポート数	1Upstream(コンピュータ側), 4Downstream(周辺機器側)	
音声入力コネクタ	φ3.5mmステレオミニジャック	
入力音声信号	0.7Vrms (最大)	
スピーカー	1.0W×2 (アンプ付きステレオスピーカー)	
ヘッドホン端子	φ3.5mmステレオミニジャック	
入力電源 消費電力	AC100～230V 50/60Hz 0.75～0.34A 70W (最大) パワーマネージメントモード時：4W (最大) *	
外形寸法, 重量	466.0 × 418.5 ～ 528.5 × 241.0 (幅×高×奥行) mm, 10.2kg	
角度調節範囲	左右各35° 上方向35°	
環境条件	動作時の温度： 5～35°C 保管時の温度： -20～60°C 湿度 (-20～50°C未満時)： 20～85% (結露なきこと) 湿度 (50～60°C時)： 20～55% (結露なきこと)	
適合規格	TCO'03 (ProLite H2130-W), TCO'99 (ProLite H2130-B), CE, TÜV-GS, MPRⅢ (prEN50279) / ISO13406-2, FCC-B, UL, CSA, VCCI-B	

補足 * USB/オーディオ機器未接続時。

モデル名	ProLite H2010	
液晶 パネル	駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリックス
	サイズ	対角：51cm/20.1"
	画素ピッチ	水平 0.255mm×垂直 0.255mm
	輝度	300cd/m ² (標準)
	コントラスト比	700 : 1 (標準)
	視野角	上下左右各88° (標準)
	応答速度	16ms (黒→白→黒) , 10ms (グレー↔グレー)
最大表示色	約1677万色	
走査周波数	アナログ：水平：24.0～82.0kHz 垂直：56.0～85.0Hz デジタル：水平：31.0～82.0kHz 垂直：50.0～85.0Hz	
ドットクロック	162MHz (最大)	
解像度	1600×1200 (最大) , 2MegaPixels	
信号入力コネクタ	デュアルDVI-I29ピンコネクタ	
信号出力コネクタ	D-SUBミニ15ピンコネクタ	
プラグ&プレイ機能	VESA DDC2B™, DDC-CI	
入力同期信号	セパレート同期： TTL, 正極性/負極性 コンポジット同期：TTL, 正極性/負極性 シンク・オン・グリーン：0.3Vp-p, 負極性	
入力映像信号	アナログ：0.7Vp-p (標準) , 75Ω, 正極性 デジタル：DVI(デジタルビジュアルインターフェイス規格Rev.1.0)準拠	
出力映像信号	アナログ：0.7Vp-p (標準) , 75Ω, 正極性	
最大表示範囲	水平：408mm 垂直：306mm	
USB規格 コネクタ形状	Rev. 2.0/1.1適合 セルフパワーハイスピードハブ Upstream：シリーズB, Downstream(周辺機器側)：シリーズA	
USB内蔵ポート数	1Upstream(コンピュータ側), 4Downstream(周辺機器側)	
入力電源 消費電力	AC100～230V 50/60Hz 0.75～0.34A 70W (最大) パワーマネージメントモード時：4W (最大) *	
外形寸法, 重量	466.0 × 424.0～534.0 × 241.0 (幅×高×奥行) mm, 9.8kg	
角度調節範囲	左右各35° 上方向35°	
環境条件	動作時の温度： 5～35°C 保管時の温度： -20～60°C 湿度 (-20～50°C未満時)： 20～85% (結露なきこと) 湿度 (50～60°C時)： 20～55% (結露なきこと)	
適合規格	TCO'03 (ProLite H2010-W), TCO'99 (ProLite H2010-B), CE, TUV-GS, MPRⅢ(prEN50279) / ISO 13406-2, FCC-B, UL, CSA, VCCI-B	

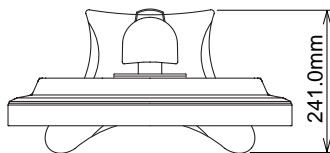
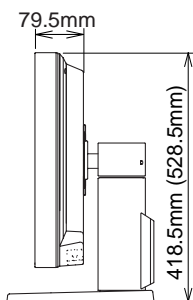
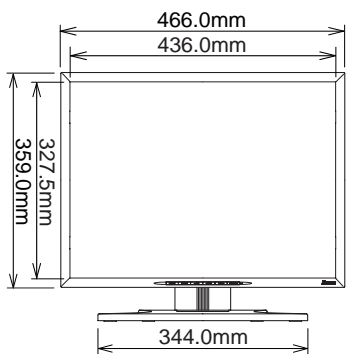
補足 * USB/オプションスピーカー/オーディオ機器未接続時。

モデル名	ProLite H1900	
液晶 パネル	駆動方式	a-Si TFT アクティブマトリックス
	サイズ	対角：48cm/19.0"
	画素ピッチ	水平 0.294mm×垂直 0.294mm
	輝度	300cd/m ² (標準)
	コントラスト比	1000：1 (標準)
	視野角	上下左右各89° (標準)
	応答速度	12ms (黒→白→黒), 8ms (グレー←→グレー)
最大表示色	約1677万色	
走査周波数	アナログ：水平：24.0～82.0kHz 垂直：56.0～85.0Hz デジタル：水平：31.0～82.0kHz 垂直：50.0～85.0Hz	
ドットクロック	アナログ：135MHz デジタル：162MHz (最大)	
解像度	アナログ：1280×1024 (最大), 2MegaPixels デジタル：1600×1200 (最大), 2MegaPixels	
信号入力コネクタ	デュアルDVI-I29ピンコネクタ	
信号出力コネクタ	D-SUBミニ15ピンコネクタ	
プラグ&プレイ機能	VESA DDC2B™, DDC-CI	
入力同期信号	セバレート同期： TTL, 正極性/負極性 コンポジット同期：TTL, 正極性/負極性 シンク・オン・グリーン：0.3Vp-p, 負極性	
入力映像信号	アナログ：0.7Vp-p (標準), 75Ω, 正極性 デジタル：DVI(デジタルビジュアルインターフェイス規格Rev.1.0)準拠	
出力映像信号	アナログ：0.7Vp-p (標準), 75Ω, 正極性	
最大表示範囲	水平：376.3mm 垂直：301.1mm	
USB規格 コネクタ形状	Rev. 2.0/1.1適合 セルフパワーードハイスピードハブ Upstream：シリーズB, Downstream(周辺機器側)：シリーズA	
USB内蔵ポート数	1Upstream(コンピュータ側), 4Downstream(周辺機器側)	
入力電源 消費電力	AC100～230V 50/60Hz 0.69～0.32A 63W (最大) パワーマネージメントモード時：4W (最大) *	
外形寸法, 重量	430.0 × 414.5～524.5 × 241.0 (幅×高×奥行) mm, 9.0kg	
角度調節範囲	左右各35° 上方向35°	
環境条件	動作時の温度： 5～35°C 保管時の温度： -20～60°C 湿度 (-20～50°C未満時)： 20～85%(結露なきこと) 湿度 (50～60°C時)： 20～55%(結露なきこと)	
適合規格	TCO'03 (ProLite H1900-W), TCO'99 (ProLite H1900-B), CE, TUV-GS, MPRⅢ (prEN50279) / ISO 13406-2, FCC-B, UL, CSA, VCCI-B	

補足 * USB/オプションスピーカー/オーディオ機器未接続時。

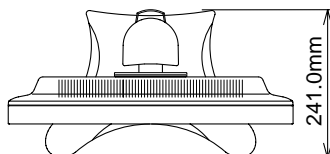
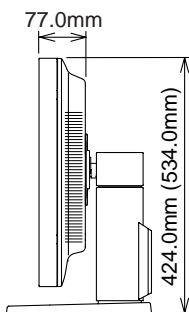
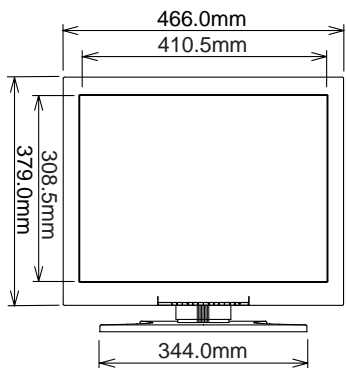
外形寸法図

■ ProLite H2130



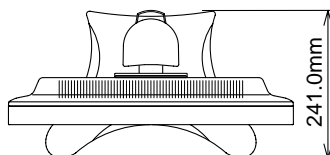
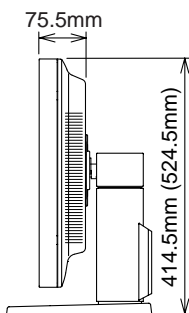
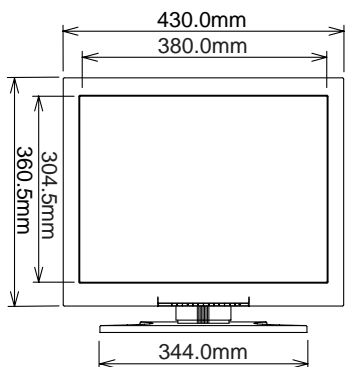
() : 高さ調節最大時

■ ProLite H2010



() : 高さ調節最大時

■ ProLite H1900



() : 高さ調節最大時

対応信号タイミング

ビデオモード		水平周波数	垂直周波数	ドットクロック	
VESA	VGA 640×480	31.469kHz	59.940Hz	25.175MHz	
		37.861kHz	72.809Hz	31.500MHz	
		37.500kHz	75.000Hz	31.500MHz	
	SVGA 800×600	35.156kHz	56.250Hz	36.000MHz	
		37.879kHz	60.317Hz	40.000MHz	
		48.077kHz	72.188Hz	50.000MHz	
		46.875kHz	75.000Hz	49.500MHz	
	XGA 1024×768	48.363kHz	60.004Hz	65.000MHz	
		56.476kHz	70.069Hz	75.000MHz	
		60.023kHz	75.029Hz	78.750MHz	
	SXGA 1280×1024	63.981kHz	60.020Hz	108.000MHz	
		79.976kHz	75.025Hz	135.000MHz	
UXGA 1600×1200	75.000kHz	60.000Hz	162.000MHz		
VGA TEXT	720×400	31.469kHz	70.087Hz	28.322MHz	*
Macintosh	640×480	35.000kHz	66.667Hz	30.240MHz	*
	832×624	49.725kHz	74.500Hz	57.283MHz	*
	1024×768	60.150kHz	74.720Hz	80.000MHz	*
PC9801	640×400	24.827kHz	56.424Hz	21.053MHz	*
SUN66	1152×900	61.846kHz	66.004Hz	94.500MHz	*

補足 *のタイミングはDVIに対応していません。

信号入力コネクタのピン配列

■ DVI-I 29ピンコネクタ

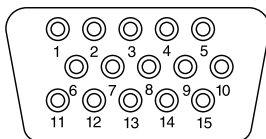


DVI-I

PIN	入力信号	PIN	入力信号
1	T.M.D.S Data2-	16	Hot Plug Detect
2	T.M.D.S Data2+	17	T.M.D.S Data0-
3	T.M.D.S Data2/4接地	18	T.M.D.S Data0+
4	NC	19	T.M.D.S Data0/5接地
5	NC	20	NC
6	クロックライン(SCL)*	21	NC
7	データライン(SDA)*	22	T.M.D.S Clock接地
8	アナログ垂直同期	23	T.M.D.S Clock+
9	T.M.D.S Data1-	24	T.M.D.S Clock-
10	T.M.D.S Data1+	C1	アナログ赤
11	T.M.D.S Data1/3接地	C2	アナログ緑
12	NC	C3	アナログ青
13	NC	C4	アナログ水平同期
14	+5V Power	C5	アナログ接地
15	接地		

*VESA DDC 規格に準拠

■ D-SUBミニ15ピンコネクタ



D-SUB

PIN	入力信号	PIN	入力信号
1	赤	9	NC
2	緑	10	接地
3	青	11	接地
4	NC	12	NC
5	NC	13	水平同期
6	赤接地	14	垂直同期
7	緑接地	15	NC
8	青接地		

付録 B

オプションビデオ入力時

このメニューは、オプションビデオアダプタが取り付けられたときのみ表示されます。

アナログ/デジタル入力設定からビデオ入力へは自動的に切り替りません。メニューの入力信号切り替え、またはINPUTボタンにて切り替えてご使用ください。(パワーマネージメント時はMENUボタンを押すと入力信号切り替え画面が表示されます。)

ダイレクト調整

メニュー画面を表示する手間を省き、次のボタン操作で直接調整画面に入ることができます。

- **ブライトネス：** メニュー画面を表示していない時に、ブライトネス調整ボタンを押します。
- **コントラスト：** メニュー画面を表示していない時に、コントラスト調整ボタンを押します。
- **入力信号切り替え：** メニュー画面を表示していない時に、INPUTボタンを押します。
- **音量調整：** ブライトネス調整ボタンまたはコントラスト調整ボタンを押してから約5秒以内にMENUボタンを押します。(ProLite H2130のみ)
- **映像ロック：** メニュー画面を表示していない時にAUTOボタンを押します。

補足

■ ブライトネス/コントラスト/音量調整の切り替え (音量調整はProLite H2130のみ)

ダイレクト調整中、ブライトネス調整ボタンまたはコントラスト調整ボタンを押してから約5秒以内にMENUボタンを押すと、調整画面を切り替えることができます。

└─▶ブライトネス ─▶ コントラスト ─▶ 音量調整 ─▶

■ 入力信号切り替え (INPUT1 / INPUT2 / S VIDEO / VIDEO)

2つ以上の信号が同時に入力されている時、信号入力コネクタ(INPUT1 / INPUT2 / S VIDEO / VIDEO)のいずれかを選択します。

メニュー：ファンクションの「自動検出」を「自動」にしている場合

INPUTボタンを押してからMENUボタンを押し、+ / - ボタンを使って信号入力コネクタ(INPUT1 / INPUT2 / S VIDEO / VIDEO)を選択すると、入力信号(INPUT1アナログ / INPUT1デジタル / INPUT2アナログ / INPUT2デジタル / S VIDEO / VIDEO)を自動検出します。

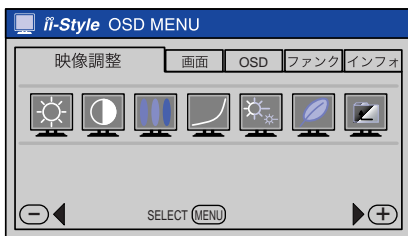
メニュー：ファンクションの「自動検出」を「手動」にしている場合

INPUTボタンを押してからMENUボタンを押し、+ / - ボタンを使って入力信号(INPUT1アナログ / INPUT1デジタル / INPUT2アナログ / INPUT2デジタル / S VIDEO / VIDEO)を選択します。

■ 映像ロック

メニュー画面を表示していない時にAUTOボタンを押すと、“Frame Locked.”が表示され、画面に表示されている映像をロックすることができます。もう一度AUTOボタンを押すと解除されます。

メニュー：映像調整
(ビデオ入力)

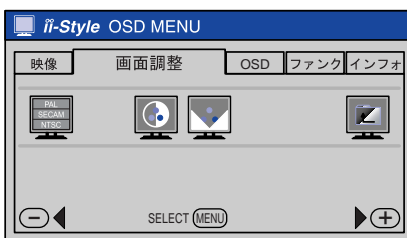










調整項目	画面の状態/調整ボタン		
ブライトネス* Brightness ダイレクト調整	暗すぎる 明るすぎる		
コントラスト Contrast ダイレクト調整	弱すぎる 強すぎる		
カラー調整 Color Temp. / Matrix 補足 ■ sRGBとは、機器間の色再現(色彩、彩度等)の違いを規定・統一した国際規格です。 ■ sRGBを設定している時は、ブライトネス、コントラスト、ガンマ補正が固定値となり調整できません。	9300K	やや青みがかったホワイト (9300K)	
	6500K	やや赤みがかったホワイト (6500K)	
	ユーザー	MENU R(赤) G(緑) B(青)	弱すぎる + 強すぎる -
	マトリクス	MENU Y(イエロー) M(マゼンタ) C(シアン)	薄すぎる + 濃すぎる -
	sRGB	sRGBモードになります	
	CAL	キャリブレーションモード：色合いをキャリブレーションセンサー(オプション)による調整値に設定します	
ガンマ補正 Gamma	ノーマル	ノーマル	
	ハイコント	ハイコントラスト	
	ダーク	ダーク	
	ユーザー	ガンマ値：約1.8, 2.0, 2.2, 2.4のいずれかに設定します	
シャープネス Sharpness	画面がボケている + 画面がザラザラしている -		
エコノミー・モード Economy Mode	ユーザー	バックライトが暗すぎる + バックライトが明るすぎる -	
	モード1	バックライトの明るさ約10%ダウン	
	モード2	バックライトの明るさ約50%ダウン	
メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：映像調整に戻ります		

* 暗い部屋などで使用していて画面がまぶしい場合は、エコノミー・モードのユーザーを調整してください。

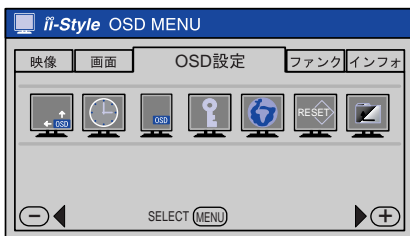
ダイレクト調整 ダイレクト調整については、P.36「ダイレクト調整」を参照してください。

メニュー：画面調整
(ビデオ入力)



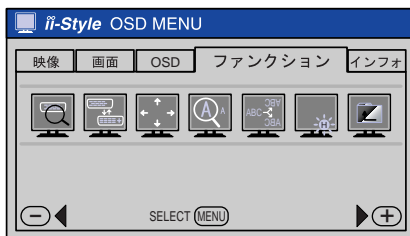
調整項目	画面の状態／調整ボタン	
 放送方式 Color System	AUTO	放送法式を自動的に切り替えます。通常はこの設定でご使用ください。
	NTSC	放送法式をNTSCに強制的に切り替えます。
	PAL	放送法式をPALに強制的に切り替えます。
	SECAM	放送法式をSECAMに強制的に切り替えます。
 カラー Color	色が薄い	 <input type="button" value="+"/>
	色が濃い	 <input type="button" value="-"/>
 色あい Hue	色が紫がかっている	 <input type="button" value="+"/>
	色が緑がかっている	 <input type="button" value="-"/>
 メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：画面調整に戻ります	

メニュー：OSD設定
(ビデオ入力)



調整項目	画面の状態／調整ボタン			
OSD位置調整 OSD Position	1 2 3 4 5			<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>
<p>1~5までオンスクリーンの移動位置が設定されています。 プラスボタンを押すと昇順に移動し、マイナスボタンを押すと降順に移動します。</p>				
OSDオフタイマー OSD Off Timer	3~60秒までのOSDのオフタイマーを設定します			<input type="button" value="+"/> <input type="button" value="-"/>
OSD回転 OSD Rotation	オフ	ノーマル画面に戻ります		
	オン	メニュー画面を左に90°回転します		
補足	パネルを縦長(90°回転)で使用する時に、ご使用ください。			
キーロックモード Key Lock Mode	オフ	メニュー画面に戻ります		
	オン	すべての調整をロックします		
補足	ロックを解除する場合は、メニュー、プラス、マイナスボタンを同時に8秒以上押し続けてください。			
言語選択 Language	English	英語表示	Svenska	スウェーデン語表示
	Deutsch	ドイツ語表示	Русский	ロシア語表示
	Nederlands	オランダ語表示	中文	中文表示
	Francais	フランス語表示	日本語	日本語表示
	Italiano	イタリア語表示	Polski	ポーランド語表示
	Espanol	スペイン語表示		
リセット Reset	NO	メニュー画面に戻ります		
	YES	工場出荷設定に戻ります		
メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：OSD設定に戻ります			

メニュー：ファンクション
(ビデオ入力)



調整項目	画面の状態/調整ボタン				
自動検出 Auto Search	自動	下記順番で、入力信号の自動選択を行います INPUT1アナログ→INPUT1デジタル→INPUT2アナログ→ VIDEO←S VIDEO←INPUT2デジタル←			
	手動	「入力信号切り替え」で入力信号を選択します			
入力信号切り替え Signal Select ダイレクト調整	Input1	映像をアナログ入力に切り替えます 映像をデジタル入力に切り替えます			
	Input2	映像をアナログ入力に切り替えます 映像をデジタル入力に切り替えます			
	S Video	映像をS ビデオ入力に切り替えます			
	Video	映像をビデオ入力に切り替えます			
	1 to 1	等倍表示			
フルスクリーン Full Screen	アスペクト	アスペクト比に拡大表示			
	フル	拡大表示			
ズーム Zoom 補足 ユーザー設定を取り消す場合は、設定画面を表示している時にAUTOボタンを押してください。	ユーザー	Zoom In Zoom Out ← MENU	画面を拡大します + 戻します -		
		水平ポジション ← MENU	ズームポイント右側へ移動 + ズームポイント左側へ移動 -		
	4 Multi.	垂直ポジション ← MENU	ズームポイント下側へ移動 + ズームポイント上側へ移動 -		
		<table border="1"> <tr> <td>1</td> <td>2</td> </tr> <tr> <td>3</td> <td>4</td> </tr> </table> 4台のモニタを使った4分割画面設定時に選択してください	1	2	3
1	2				
3	4				
フリッピング Flipping	オフ	ノーマル画面に戻ります			
	Mirror	左右を反転した画面を表示します			
	180°	180°回転した画面を表示します			
LED ON/OFF* LED ON/OFF	オフ	LEDを消灯します			
	オン	LEDを点灯します			
メニューに戻る Return to Menu	カーソルがメニュー：ファンクションに戻ります				

* マルチモニタ環境時、LEDの光が気になる場合にご使用ください。

ダイレクト調整 ダイレクト調整については、P.36「ダイレクト調整」を参照してください。

メニュー：インフォメーション (ビデオ入力)



製品名／入力信号／信号タイミング／動作時間が表示されます。

パワーマネージメント機能

本製品を使用してビデオ入力に対応している場合でもパワーマネージメント機能は有効です。ビデオ機器からの信号がなくなると、パワーマネージメントモード（消費電力4W）となり、電源インジケータが橙色に点灯します。この状態でビデオ機器から信号が入力されると、数秒後に画面は表示され通常動作状態に戻ります。

オプションビデオ入力の仕様

信号入力コネクタ	RCAピンジャック S映像端子
入力映像信号	ビデオ*： NTSC, PAL, SECAM

補足 * 一部対応していない方式もあります。

ユーザー登録のご案内

iiyamaでは、皆様へのサービス向上と常により良い商品をお届けするため、ユーザー登録にご協力をお願いしております。

ご登録方法

インターネットによる登録

[<http://www.iiyama.co.jp/user/touroku.htm>] へアクセスし、画面の指示に従い登録してください。（あらかじめインターネットができる環境が必要です。）

※ インターネット接続料金、電話料金などの通信費用はお客様負担となります。

※ 登録完了の通知は行いませんのでご了承ください。

お客様の個人情報の取り扱いについて

株式会社イーヤマをはじめとするiiyamaグループ（以下「イーヤマ」といいます）は、ユーザー登録時にご登録いただいたお客様の個人情報ならびにお客様がイーヤマ製品のサポートサービス等を利用した際の履歴について、下記に従って適切に利用、管理いたします。（以下、お客様の個人情報とサービス等の利用履歴を「お客様情報」といいます。）

お客様の個人情報の管理および利用について

- 1.イーヤマは、お客様の個人情報を以下の目的で利用させていただきます。お客様の同意なく下記目的以外の使用はいたしません。
 - (1)サービスおよびサポートの実施・提供（製品の保証、修理など）
 - (2)電子メールによる製品やサービスに関するキャンペーン情報の提供
 - (3)お客様を特定できない形式での販売統計データの作成
- 2.弊社は以下の場合を除いて、お客様の同意なく当該個人情報を第三者に提供しません。
 - (1)上記のお客様情報の利用目的のために、グループ会社に業務委託を委託する必要がある場合
 - (2)法令等に基づいて開示が要求される場合なお、イーヤマは当該グループ会社に対して、お客様情報の安全管理および使用目的の遵守を徹底いたします。
- 3.弊社は、ご登録いただいたお客様情報の漏洩、流出防止の管理を徹底いたします。
- 4.登録個人情報の参照、訂正、削除をご希望の場合は、イーヤマサポートセンターまでお問い合わせください。電子メールによる各種情報の配信は、お客様の要請があれば停止いたします。

*16歳未満のお子様の個人情報については、必ず保護者の方が同意した上でご提供頂きますよう、お願いいたします。

〈保証条件〉

1. 取扱説明書・本体貼付ラベル等に従った正常な使用状態で故障した場合には、本保証書の記載内容にもとづきイーヤマサービスセンターが無料修理します。
2. 保証期間内に故障して無料修理を受ける場合には、お買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターに製品と保証書をご提示の上依頼してください。
尚、製品を発送される場合の送料はお客様ご負担となりますのでご了承ください。
3. 本製品の故障やその使用によって生じた直接または間接の損害について、当社はその責任を負わないものとします。
4. 保証期間内でも次のような場合は有料修理となります。
 - (1) 保証書をご提示されないとき。
 - (2) 本保証書の所定事項の未記入、記載内容の書き換えられたもの。
 - (3) 火災・地震・水害・落雷・その他の天変地異、公害や異常電圧による故障または損害。
 - (4) お買い上げ後の輸送、移動時の落下等のお取り扱いが不適当なため生じた故障または損害。
 - (5) 取扱説明書に記載の使用方法や注意に反するお取り扱いによって生じた故障または損害。
5. 本保証書は再発行いたしませんので紛失しないよう大切に保管してください。

この保証書は、本書に明示した期間、条件のもとにおいて無料修理をお約束するものです。従ってこの保証書によってお客様の法律上の権利を制限するものではありませんので、保証期間経過後の修理等についての詳細はお買い上げの販売店またはイーヤマサービスセンターまでお問い合わせください。



古紙配合率100%再生紙を使用しています



植物性大豆油インキを使用しています

保証書

本保証書は日本国内においてのみ有効です。

本保証書は、本記載内容で無料修理させていただくことをお約束するものです。本保証書は所定事項を記入して効力を発するものですから必ず型名、製造番号、お買い上げ日、お客様名、ご住所、電話番号、販売店名の記入をご確認ください。

型名	製造番号
保証期間 3年	
お買い上げ日	年 月 日
お客様名	
住所 〒	
TEL ()	

販売店名・住所・TEL・担当者

株式会社イーヤマ

製品の取り扱いについてのお問い合わせ

イーヤマサポートセンター

■月曜日～金曜日 9:00～17:00（但し、弊社指定休日は除く）

TEL 025-521-5910

FAX 025-521-5270

製品の修理についてのお問い合わせ

イーヤマサービスセンター

■月曜日～金曜日 9:00～17:00（但し、弊社指定休日は除く）

〒943-0853 新潟県 上越市島田 2490-2

TEL 025-521-5920

FAX 025-521-5270

サポートの最新情報（連絡先等）は弊社ホームページに記載しています。

お問い合わせの前に、ホームページにてご確認ください。

URL: <http://www.iiyama.co.jp/>